

“自己脂肪由来間葉系幹細胞による更年期障害治療“の価格表

コンサルテーション&診察費	50万円		
手術（組織採取）費	40万円		
検査費	30万円		
細胞培養加工費 （三次元培養）	細胞抽出(初代培養) 30万円		
	手作業		自動培養
	1億個	2億個	3億個
	100万円	150万円	250万円
治療（細胞投与）費	1回 50万円	3回 150万円	
	2回 100万円	6回 300万円	
合計（税抜）	300万円	350万円	550万円
	350万円	400万円	700万円

* 上記には、1年間の組織もしくは細胞の冷凍保管費用が含まれます。

* 外国の方は、上記以外にコーディネイト費、通訳料等がかかります。

内訳

・コンサルテーション&診察費 50万円 (20万円+5万円 x 6回分)

・手術(組織採取)費 40万円

(組織採取 26万円+血清製造費 3万円+保管費 11万円)

○当院独自の低侵襲組織採取方法により、皮膚切開は小さく、更には採取した脂肪組織を傷つけないため、圧倒的に少ない組織量(わずか0.5g)での幹細胞培養が可能です。故に一般的な穿刺吸引法や組織ブロック採取法よりも、侵襲が少なく術後の痛みも少ないのが特徴です。

○より多い量の幹細胞培養を希望される場合には、1g程度の脂肪組織をブロック採取法により実施する場合があります。

・検査費 30万円

(術前血液検査 10万円+心電図・血圧・酸素飽和度モニタリング 10万円+外来時血液検査 10万円)

・細胞培養加工費(新規三次元培養法)

幹細胞抽出(初代培養) 30万円 + 100万円(手作業1億個)

150万円(手作業2億個)

250万円(自動培養3億個)

300万円(自動培養5億個)

○本治療では、一般的に実施されているフラスコ底面に細胞を無理に多く増やし、品質の劣化を招きやすいとされる二次元培養方法は行いません。

・治療(細胞投与等)費 50万円(1回ごと)

(細胞品質評価費 10万円+調剤・細胞投与 25万円+投与後管理費 15万円)